

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	67%	33%	-	
	2	職員の配置数は適切であるか	78%	22%	-	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	89%	11%	-	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	89%	11%	-	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	78%	11%	11%	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	89%	-	11%	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	22%	22%	56%	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	78%	22%	-	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%	-	-	
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	45%	33%	22%	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	67%	33%	-	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	89%	11%	-	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	67%	33%	-	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	67%	22%	11%	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	89%	11%	-	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100%	-	-	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	89%	11%	-	

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%	-	-	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	45%	55%	-	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	67%	22%	11%	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	100%	-	-	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	33%	67%	-	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	67%	22%	11%	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	89%	11%	-	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	44%	44%	12%	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	-	22%	78%	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	-	44%	56%	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	89%	11%	-	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	56%	22%	22%	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%	-	-	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	89%	11%	-	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	-	44%	56%	

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%	-	-	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%	-	-	
	35	個人情報に十分注意しているか	100%	-	-	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%	-	-	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	12%	44%	44%	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	67%	33%	-	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	78%	22%	-	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	78%	11%	11%	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	89%	-	11%	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	78%	22%	-	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	89%	-	11%	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	50%	50%	-	職員も各居室に分かれて見守りを行っている。
	2	職員の配置数は適切であるか	30%	70%	-	送迎が混み合う時間帯も配置できるようにしている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	-	100%	-	裏口の出入り口が車いすで出られない→対策検討する必要あり
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	17%	83%	-	毎月一人一人の利用児の様子を振り返り、支援につなげている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	50%	33%	17%	個別支援計画の様式が変わったことで、6か月ごとに要望を確認するようになった。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	67%	33%	-	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	-	50%	50%	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	83%	17%	-	リモートを使った講義に参加した。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	17%	83%	-	きちんと行っている
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	17%	83%	-	必要な児童には行っている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	67%	33%	-	皆で相談し、コロナ対策を行いながら実施した。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	50%	50%	-	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	17%	83%	-	長期休暇中は集団でしか見れない
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	67%	3%	-	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%	-	-	活動リーダーを決め、事前に準備している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100%	-	-	毎日行っている
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%	-	-	

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	83%	17%	-	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	17%	83%	-	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	67%	33%	-	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	83%	17%	-	学校の先生から聞いた情報を保護者に伝えている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	-	67%	33%	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	-	100%	-	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	83%	17%	-	相談員を通して伝えるようにしている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	-	83%	17%	今年度1名が児発管の研修に参加した。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	-	17%	83%	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	-	67%	33%	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	83%	17%	-	連絡帳を通して行っている
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	-	50%	50%	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%	-	-	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	83%	17%	-	送迎時等に行っている
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	-	83%	17%	

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%	-	-	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%	-	-	つくしだより等で行っている
	35	個人情報に十分注意しているか	100%	-	-	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	50%	50%	-	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	-	67%	33%	毎日散歩することで、利用者の様子を知ってもらっている。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	67%	33%	-	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%	-	-	定期的に行っている
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%	-	-	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100%	-	-	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	50%	50%	-	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	50%	-	50%	

<評価表の結果について話し合った内容について>

- ・環境については、コロナの感染予防対策として空気清浄機の設置、自動水栓の取り付けを行った。
- ・保護者や本人の満足度や意見、要望は個別支援計画のモニタリングで6か月毎に聞き取れるようになった。
- ・活動についても、感染予防を考慮している。カラオケや調理実習、大人数でのドライブは中止し、散歩や個別の対応を行うようにしている。
- ・利用希望の調査を行い調整を行っているが、曜日や時間によっては希望に添えないこともある。
- ・今年度から地震も想定した訓練を行っており、来年度も継続していきたい。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無効票	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	76%	24%	-	-	利用者、人数により別室を開放し、スペースの確保に努めている。利用者に合わせてテーブルの配置を行っている。
	2	職員の配置数は適切であるか	88%	12%	-	-	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	76%	24%	-	-	玄関周りでは歩行者にとっての段差はあり、すのこの配置を変え改善を行った。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	76%	24%	-	-	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	76%	12%	12%	-	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	88%	12%	-	-	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	38%	50%	-	12%	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%	-	-	-	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	88%	12%	-	-	
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	62%	38%	-	-	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	76%	24%	-	-	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	62%	38%	-	-	幅広い職員が関わるよう心掛け、固定化や偏りを防ぐ。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	50%	50%	-	-	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	76%	24%	-	-	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%	-	-	-	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100%	-	-	-	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	88%	12%	-	-	

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%	-	-	-	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	38%	50%	-	12%	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	88%	12%	-	-	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	88%	12%	-	-	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	64%	24%	12%	-	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	38%	62%	-	-	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	88%	12%	-	-	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	64%	24%	12%	-	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	-	12%	88%	-	地域での認知度が低く、行事に誘われることがほとんどない。地域に知ってもらい、交流を検討していたが、現在は難しい状況。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	-	24%	76%	-	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%	-	-	-	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	50%	26%	24%	-	保護者からの相談は受け止め、アドバイスがあれば適宜行っている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%	-	-	-	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	76%	24%	-	-	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	-	50%	50%	-	



	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%	-	-	-	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%	-	-	-	
	35	個人情報に十分注意しているか	100%	-	-	-	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	88%	12%	-	-	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	-	38%	62%	-	クリスマス会等の行事の招待状の配布を検討していたが、現在は難しい状況。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	100%	-	-	-	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%	-	-	-	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%	-	-	-	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	88%	12%	-	-	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	76%	24%	-	-	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%	-	-	-	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無効票	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	50%	40%	10%		
	2	職員の配置数は適切であるか	50%	20%	30%		時間的な差があるので、居る職員で工夫が必要。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	50%	20%	30%		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	60%	40%	-		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	80%	20%	-		保護者向けアンケートを活用し、保護者間等の交流を図れるようコロナの状況に応じて配慮していく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	70%	30%	-		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	20%	30%	50%		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	30%	70%	-		
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	80%	20%	-		
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	40%	40%	20%		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	80%	20%	-		
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	80%	20%	-		
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	40%	40%	20%		長期休暇時は特に全ての年代から集まるようなレクリエーションを提供していく。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	80%	20%	-		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	80%	20%	-		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	80%	20%	-		
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	90%	10%	-		

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	90%	10%	-		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	40%	50%	10%		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	70%	30%	-		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	90%	10%	-		学校送迎時、日々利用者の細かい情報などのやり取りを先生と行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	30%	50%	20%		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	40%	50%	10%		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	80%	20%	-		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	20%	50%	30%		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	-	30%	70%		できる限り公園へ散歩など、野外活動を考えていく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	10%	50%	40%		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	80%	20%	-		送迎時、連絡帳、電話等で細やかに保護者と情報交換を行っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	20%	40%	40%		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	90%	10%	-		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	90%	10%	-		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	20%	30%	50%		

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	90%	10%	-		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%	-	-		つくしだよりで施設情報の伝達やレクリエーション活動の報告などを行っている。
	35	個人情報に十分注意しているか	100%	-	-		
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%	-	-		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	-	10%	90%		
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	30%	60%	10%		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	90%	-	10%		年2回は実施している。内容が十分といえるか、今後も検討が必要。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	40%	60%	-		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	80%	10%	10%		支援計画作成時に必ず説明し、了承を得てからの記載となっている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	80%	20%	-		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	90%	10%	-		

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	無効票	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%				
	2	職員の配置数は適切であるか	100%				
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	100%				玄関にもスロープを設置し、車椅子対応もできるようにした。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		100%			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%				
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか		100%			令和2年4月開所のため、今回より公開。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	50%	50%			相談員や見学者よりアドバイスをもらい、改善を行っている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		100%			
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%				
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		100%			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%				
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%				
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	100%				
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%				
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100%				
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%				

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%				
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか		100%			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%				
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	100%				
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		100%			現在利用者なし。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			100%		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		100%			現在該当者なし。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			100%		今後必要があれば助言や研修を行っていききたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			100%		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			100%		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%				
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		100%			
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか					
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%				
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			100%		

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%			現在苦情などはないが、あった場合は適切に対応していきたい。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%			つくしだより発行。HPあり。	
	35	個人情報に十分注意しているか	100%				
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			100%		地域住民との関りがいないため、関りを作っていきたい。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	50%	50%		全部のマニュアルがないため、策定し周知していく。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか			100%		今後実施予定。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%				
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100%				
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		100%			該当者なし。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		100%			今後あれば作成し共有する。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無効票	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	82%	18%	-		コロナ禍でもあり、密にならないようソーシャルディスタンスをとっている。
	2	職員の配置数は適切であるか	100%	-	-		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	73%	27%	-		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	55%	45%	-		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	64%	36%	-		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	55%	36%	9%		会社のHPIにて公開しているが、見ていない職員がいる。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	28%	36%	36%		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%	-	-		研修案内等を回覧し、勤務調整して研修に行けるようにしている。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%	-	-		
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	19%	45%	36%		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	73%	27%	-		
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	73%	27%	-		放課後は利用時間が短いため、おやつと宿題で終わっていることが多い。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	37%	63%	-		一部の児童には支援計画の中にある。全ての児童に努めていく。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	82%	18%	-		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	91%	9%	-		朝礼は必ず行き、支援の方法が変わった時や新しい情報の確認を行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	91%	9%	-		毎日ミーティングを行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%	-	-		



	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%	-	-	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	30%	70%	-	ガイドラインを理解していない。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	91%	9%	-	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	82%	18%	-	予約案や学校のお知らせで確認している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	27%	55%	18%	今後は医ケア指示書を作成し医師に記入していただく予定。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	37%	45%	18%	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	73%	27%	-	移行支援会議で情報を提供している。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	45%	45%	10%	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	-	27%	73%	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	-	55%	45%	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%	-	-	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	10%	45%	45%	課題があれば保護者と話し合うが、どちらかという保護者の方針に従っている。専門性を活かして助言するようにしていきたい。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	73%	27%	-	契約時に説明している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	64%	36%	-	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	-	36%	64%	コロナ禍にあり、なるべく接触の機会がないよう努めていた。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%	-	-		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%	-	-		つくしだよりや連絡帳で伝えている。
	35	個人情報に十分注意しているか	100%	-	-		
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%	-	-		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	18%	18%	64%		
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	64%	36%	-		今年はコロナ禍にあり、その対応にはポスターやお知らせで周知した。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%	-	-		車椅子で屋外へ脱出できないことを想定し、簡易担架での脱出訓練を行った。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%	-	-		研修には毎年参加している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100%	-	-		現在該当する児童はいない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	55%	36%	9%		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	91%	9%	-		朝のミーティング時にはレジメに記載。ヒヤリハット報告書は別にファイリングしてある。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無効票	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	75%	25%			曜日によって工夫が必要。
	2	職員の配置数は適切であるか	13%	87%			忙しいときでもサービスが行き届くよう努力している
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	87%	13%			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	38%	62%			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	50%	50%			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%				
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	38%	62%			
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%				
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%				
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	62%	25%		13%	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	75%	25%			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	75%	25%			1日利用では行っている。方法を探りながら対応している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	25%	75%			工夫はしているが、課題が見えにくい方もおられる。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	87%	13%			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	38%	50%	12%		支援計画、ミーティング等で情報を共有しながら進めている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100%				
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%				

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%				
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	25%	75%			ガイドラインの総則の基本活動から理解していく。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	87%	13%			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	87%	13%			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	75%	13%	12%		保護者を通して行っている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	50%	50%			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	100%				
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	13%	87%			今後検討していきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			100%		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		87%	13%		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%				
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	12%	38%	50%		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	75%	25%			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	87%	13%			相談されたときは対応し、良いと思うことは提案している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	38%	52%			

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	87%	13%			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	75%	25%			HPIに載せることをお知らせしている。
	35	個人情報に十分注意しているか	100%				
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	52%	38%			
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	50%	38%		12%	順次作成中。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%				
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	87%	13%			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	87%	13%			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	75%	25%			保護者の申告で対応している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	87%	13%			